

看護学にとっての最新の重要な研究・理論を教育実践に反映するために、本学では2002年より、主として英文文献を批判的に吟味し、教員間のディスカッションを通して、教育内容に確実に反映させていくための活動「シンセサイザー」（統合するもの・ひと）を実施しています。教育実践紀要発刊の目的のひとつに「本学において日常的に実施している教員個人またはグループでの教育改善の試みを記録に残し、共有し、本学の教育の質改善に役立てること」があります。今年度も「シンセサイザー」から教育実践に応用した報告を9編掲載することができました。教育活動、実習、研究とご多忙なか投稿して頂きました教員の皆さんへ心より感謝申し上げます。学内外の読者の皆さんが本学の教員の教育活動に関心をよせて頂き忌憚ないご意見を頂ければ幸いです。

2014年度 FD 専門部会
部会長 宮城 恵子